問 山田北ICいつごろの完成を望むか

答 現時点では示せない

佐藤克典（さとうかつのり）議員
（政和会）

問 山田北インターのフル化については、昨年、国直轄事業として採択された。フル化に伴い、移動時間の短縮による物流への好影響により周辺地域への新たな企業の進出等、産業の活性化、また救急医療を担う県立宮古病院への所要時間の大幅な短縮と地区住民にとって、真に命を守る道路と成り得るものと思う。今後、町も協力して事業を遂行していくと思うが、町としてはいつごろを目途に工事着手、完成を望んでいるのか。

佐藤町長 現在、事業を担当する三陸国道事務所では、現地での測量調査業務を進め、町では関係地権者に対する個別説明や相談対応などにあたるなど、協力して事業の推進に取り組んでいる。町としては一日も早い完成を目指しているところであり、工事時期や完成時期の見通しについては都度確認しているが、現時点では示せないとのことである。今後も同事務所と連携を密にして工事実施に向け着実に準備を進めるとともに、国に対しては継続して整備費予算の確実な配分を要望するなど、早期整備に向けた取り組みを推進する。

フル化へ早期完成が望まれる山田北IC

問 現時点での建設用地の地権者数はつかんでいるか。

佐々木建設課長 現在、三陸国道事務所で測量調査を進めており、その結果により用地買収の対象となる地権者数が明らかとなるため、現時点で確定的なことはお答えできないが、相続人や隣接土地所有者を含めた関係地権者の総数は30人程である。

問 用地買収は順調に進むと思われるか。

建設課長 交渉の先々では地域のためにぜひ協力したい旨のお話をいただいており、現在のところ順調に進んでいるものと認識している。

８年度の工事着手を目指す田名部地区圃場

問 田名部地区圃場（ほじょう）整備の進捗状況は

答 先行して国土調査を実施

問 田名部地区圃場（ほじょう）整備事業の導入に向け、事業主体である県と連携し計画調査に取り組んでいくとのことだが、現時点での進捗（しんちょく）状況はどうか。また、工事の着手と完成の目標年次は。

町長 田名部地区圃場（ほじょう）整備事業の進捗（しんちょく）状況については、公図と現況の不整合や登記簿面積と実測面積の差異などを解消するため、先行して国土調査事業を実施している。国土調査の成果をもとに5年度から6年度にかけ事業計画、営農ビジョンを策定し、7年度の事業採択を見込み、8年度の工事着手、10年度の完成を目指している。

問 現在、国土調査により面積を精査しているとのことだが、大まかな事業面積はつかんでいると思うがどうか。

佐々木農林課長 現時点では、34ヘクタールとなっている。

要望 田名部地区の水田は区画が小さいことから、現状のままだと遊休農地が増加する。県と連絡を密にして可能な限り早い時期に工事を進めてもらいたい。

その他の質問

- ◆子育て家庭に寄り添った支援を
- ◆移住定住支援事業は利用がどのくらいあったか
- ◆船越家族旅行村の施設整備内容は
- ◆業務改革推進室の業務内容は